

言格を導く経営

小才は、縁に会って縁に気づかず。

才能の無い人間はチャンスに気づかない。

中才は、縁に気づいて縁を生かさず。

中の才能の者はチャンスに気づいているが飛びつかない。

大才は、袖振り合う縁をも生かす。

とても才能のある人間は、袖が触れるほどの些細なチャンスも逃さない。

大物になる人物はチャンスに敏感である。

徳川家剣術指南役 柳生家の家訓



出典：柳生観光協会

柳生 宗矩

やぎゅうむねのり◎1571年～1646年。柳生石舟斎で知られる柳生宗厳の息子(五男)。剣の腕凄まじく、「古今無双の達人」「刀法の鳳」^{おおとり}「剣術無双」と賞賛された。同時代のなかでも、宮本武蔵と並ぶ代表的武芸者である。また、柳生新陰流を將軍家御流儀として確立して剣術師範となる。幕臣としても影響力があり、他藩からも一目置かれる存在であった。